

2020年9月1日

各位

会社名 クレアホールディングス(株)
代表者名 代表取締役社長 黒田 高史
(コード番号 1757 東証第2部)
問合せ先 取締役 岩崎 智彦
(Tel. 03-5775-2100)

株主による臨時株主総会の招集請求に関する途中経過（2）

当社は、2020年7月10日付け「株主による臨時株主総会の招集請求に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、当社株主（以下「本請求株主様」といいます。）より、臨時株主総会の招集請求（以下「本請求」といいます。）に関する書面（以下「本請求書」といいます。）を、同月9日付けで受領しております。本請求書に対する当社の検討の途中経過を、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、本請求を受け、本請求書に記載された提案議案（以下「本提案」といいます。）を真摯に検討し、本請求株主様との間で協議を重ねてまいりました。当初、当社は、本提案は概ね当社の企業価値・株主価値の向上に資するのではないかという感触を得たことから、本提案を会社提案とする臨時株主総会の招集決定をすることを検討し、本提案に係る各取締役候補者と面談するとともに、属性に関する調査を実施いたしました。取締役候補者の属性調査については、慎重を期する必要があるため、時間を要しております。

また、本提案の理由として、既存事業の改善や新事業による売上げ向上の見込みが記載されておりますが、これらの内容が合理性を有するのであれば、本提案は当社の企業価値・株主価値の向上に資するといえることから、当社は、その基礎となる事業計画を検証するため、面談等によるヒアリングと具体的な資料の提出を求めてまいりました。これは、本請求株主様（オリオン1号投資事業有限責任組合）の投資家兼運用者であるセノーテキャピタル株式会社の代表取締役であり、本提案に係る取締役候補者でもある岡本武之氏より、かつて当社が提案の受けた広告事業（メディアレップ業務）及び株式会社ジールコスメティックス製品の販売が本提案においても柱となっているところ、岡本氏が述べていた当初の業績見込みと実績値との間に大きな乖離が生じているため、本提案の根拠となる事業計画の精査が必須であり、また、本提案の実現性に対する株主の皆様の重要な判断材料であると認識していたためであります。

各事業の今日までの実績（速報ベース）は以下のとおりです。

■広告事業（メディアレップ業務）

岡本氏による見込み

- ・ 営業利益：年間150.0百万円（月平均：12.5百万円）

実績（2020年2月～同年7月、6か月間の実績累計）

- ・ 売上高：24.9百万円（月平均：4.1百万円）
- ・ 営業利益：20.2百万円（月平均：3.3百万円）

■株式会社ジールコスメティックス製品の販売事業

岡本氏による見込み

月間2000本

実績（2020年7月1日～同月31日）

- ・ 売上高：1.5百万円
- ・ 販売総数：235本

しかしながら、昨日（2020年8月31日）、岡本氏から、本提案の理由として記載された売上げ向上の見込みは、「イメージ」であって、その根拠となるような具体的な資料を提出することはできないとの回答があったため、当社としましては、今週中を本請求株主様（岡本氏）からの資料提出の期限として設定し、それまでに具体的な資料の提出がなければ、本提案の実現性等についての精査を断念し、来週早々に、かかる状況を前提として株主の皆様判断を仰ぐための臨時株主総会の招集を最終決定し、お知らせする予定であります。

以 上